



令和5年11月9日No.30

にしきまち 集落支援だより

錦総合支所 地域振興課 集落支援員

ふじしげ ひでゆき

藤 重 秀 之 ☎ 0827-72-2110



今回の支援だよりは、地域へ出向き、地域の皆さんと会話をもち、地域行事等に参加させて頂き楽しく集落状況把握し、知り・見た状況を掲載しました。

7月31日 消防団操作訓練

「小型ポンプ応急操法の部」

県内12チーム中準優勝！！ お疲れ様でした。

岩国市消防団錦方面隊の訓練を見てきました。日頃の訓練は大事なことです。9月16日開催の山口県消防操法大会に出場する為、一層励んでおられました。今回は第1分団第1部を中心に大会に参加され、「小型ポンプ応急操法の部」にて準優勝されました。

消防団の方が活躍することが無いのが一番よいのですが、近隣から火事現場に早く駆け付けができるのは、消防団の方です。これからも各地区の消防団の方、よろしくお願いいたします。

※写真は訓練時の様子です。



訓練前



操作訓練中



8月3日 なないろ工房 「あい」と「こあかそ」の染め物見学

地域の方が染め物をする「なないろ工房」を見学しました。染めるための材料「あい」、「こあかそ」は自分たちで取りに行きます。「あい」は地道にこね、「こあかそ」は煮て色を出し、生地を染めます。この一連の過程が楽しいそうです。ちなみにシルクがよく染まるとのことでした。染めた作品は錦町のマルシェ、祭りにて販売をされます。

「なないろ工房」の現メンバーは元気な方ばかり。作ってみたいと思われる方には是非来てほしいとのことでした。染め物に興味のある方は、訪れてみてはいかがでしょうか。



「あい」



「こあかそ」



8月1日、4日 水鉄砲作り・向峠・上沼田神楽(わんぱく列車にて)

夏休み中に開催された「わんぱく列車」。錦川清流線に乗ってきた子供たちに、地域の方が水鉄砲作りを教え、神楽公演をされました。水鉄砲作りでは、日頃、ノコギリを使うことがない子供たちは、苦勞していましたが、完成した時は笑顔がたくさん見えました。神楽公演では、神楽を初めて見る子がほとんどかと思いましたが、1回、2回と見た事がある子が多く、あらためて、岩国市は神楽が楽しめる市だと感じました。神楽を公演された方は暑い中だったので大変だと言われてました。「わんぱく列車」を盛り上げた住民の方、ご苦勞様でした

水鉄砲作り



上沼田神楽



向峠神楽



9月11日 ステンドグラス教室

この日は、ステンドグラスを利用したランタンランプに地域住民の方が挑戦されていました。ガラスの裏・表を気にしながら組み合わせ、ハンダこてでつなぎ一枚の板に。出来たステンドグラスをランプに取り付けると、皆さん「出来た、良い感じ」と楽しい雰囲気でした。



9月29日 竹細工教室 「四海波の花かご」

竹ひごを利用した竹細工に、地域住民の方が挑戦されていました。竹を編むごとに1本、2本、3本・・・と増えていき、表・裏を気にしながら編むので大変です。この作品の手順を考えた方はすごいと思いました。皆さん編む工程に苦勞されながらも完成した時は「花かご出来た」、「何を飾ろう」、「何を入れよう」と言われていました。最後は達成感があり、楽しい雰囲気でも盛り上がっていました。



展示作品
風車作るの
大変そう

9月16日 宇佐川小学校運動会

地域住民参加型の運動会です。運動会の会場は体育館でしたが、運動会が始まる前、会場の中だけではなく、会場の外の清掃作業もされていました。運動会を楽しむだけでなく、住民の方の地域に対する活動はすごいなと感じました。

児童は何度も住民の方に、「学校行事に協力をして頂きありがとうございます。」と言って、挨拶をしていました。運動会は児童と住民の方、一体となって楽しんでおられました。児童もですが、住民の方もフル出場の運動会。自分は初めて見て、感動でした。



9月24日 錦中・錦清流小学校体育祭

錦中学校と錦清流小学校の合同体育祭でした。会場は地域別にテントが用意されていて、多くの住民が来ておられました。体育祭は児童、生徒が一生懸命、競技、演技していました。応援合戦は会場は盛り上がり、合同体育祭だなと感じました。

体育祭が終わり、会場の片づけを住民の方も積極的に行ったため、あっという間に終わりました。住民参加の絆を強く感じた一面でした。



10月15日 沼田ふれあい会 棚田の稲刈り体験

錦町住民の方であればご存知の方もいらっしゃると思いますが、沼田ふれあい会の上沼田の棚田の稲刈りに参加して来ました。今は大半の方が機械で稲刈りをするため、手作業が少なくなってきましたが、こちらの地域は、手作業で稲を刈取り、束ねそして、はぜかけをしています。稲は干した方が美味しくなるとのことなので、この地域では今も行っています。棚田と共にこの集落周辺の田には、はぜかけの風景が残っています。参加者は沼田ふれあい会の方とともに楽しく作業を行われていました。



10月16日 広瀬分校周辺の植物鑑賞

岩国高等学校広瀬分校周辺の植物鑑賞へ参加しました。この場所は茶摘みでよく紹介されていますが、鑑賞にあたり、鶴谷保氏(宇部高等学校教諭)を講師としてお招きし、散策しました。住民方も多数参加されており、説明を聞きながら、時には問題を受けながらの鑑賞でした。講師の「これは何の木、植物？」に対して流石は地域住民の方・・・「これは〇〇です」と講師さながらの回答をされる方も参加されていました。



あらためまして 集落支援員とは何をするのでしょうか？

「集落へ出向き地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施」となっています。」・・・総務省資料から

私としては地域へ出向き地域の皆さんとの会話をもち、地域行事等に参加させて頂き、楽しく状況把握し、知り・見た状況を出来る範囲で市職員と連携し支援をして行くようにしたいと思っています。

ちょっとした行事でもお声掛けして頂いたらうれしく思います。今後ともよろしくお願いいたします。